

食品ロスに関するアンケートに 御協力をお願いします

皆さまには、日頃から東近江市の行政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、タイトルの「食品ロス」とは、「まだ食べられる食品を捨てる」ことを意味します。本市は、「食品ロス削減推進計画」の策定を予定しています。

つきましては、計画に皆さまの考えを反映させる目的でアンケートを実施します。御協力をよろしくお願いいたします。

※当アンケートは、15歳以上の市民の方およそ1,000名様を無作為で抽出し、個人様宛に送付しています。

※回答は無記名式です。また、回答者を特定できないようにしています。回収したアンケートは、統計的な処理を行います。

※回答いただいたアンケートは、東近江市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、適切に管理いたします。

令和7年11月

東近江市長 小 椋 正 清

アンケートの回答方法について

このアンケートは、2ページ以降、調査票の順番に沿って回答してください。

問1から問5までは、すべて回答してください。

問6と問7は、いずれか一方を選んで回答してください。

問6を選んだ場合、問7から問11までの回答は、必要ありません。

問7を選んだ場合、問8から問10まで、回答してください。

問10で「1」を選んだ場合は、問11も回答してください。

アンケートの返送方法について

令和7年12月7日（日）までに郵便ポストへ投函してください。

調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてください。

お問合せ先

東近江市環境部資源再生推進課

〒527-8527 東近江市八日市緑町10番5号

電話 0748-24-5636 IP電話 050-5801-5636

メールアドレス shigen@city.higashiomi.lg.jp

問3 あなたの家庭でのあまった食品、食材の処分方法（食品ロス）についてお答えください。（ひとつを選択）

項目	回答
ひとつに「○」	1 家庭内であまった食品を捨てているかどうかを知らない。
	2 食べ残しや消費期限を過ぎた食品は、生ごみとして捨てている。
	3 食べ残しや消費期限を過ぎた食品は、生ごみとして捨てるのではなく、たい肥化等に取り組んでいる。
	4 食品ロス（生ごみ）は、限りなくゼロ（に近い）。生ごみが出ないので、たい肥化等を考える必要もない。

問4 あなたは、「食べ残し」ではない食品・食材等を捨てたことがありますか。ある場合は、理由をお答えください。（いくつでも選択可）

項目	回答
「○」複数（いくつでも） 選択可	1 もったいないので、これまで食品・食材を捨てたことはない。
	2 食品・食材を捨てたことはあるが、捨てた理由までは覚えていない。
	3 食品が口に合わなかった（食べ残した）ので捨てた。
	4 まだ消費期限が過ぎていなかったが、食べる気にならなかったので捨てた。
	5 調理時に、食べられる余りもの（端材）が ^{はざい} 生じたが、食卓に並べることなく捨てた。
	6 食品・食材を保存していたことを忘れていて、消費期限が過ぎてしまったので捨てた。
	7 冷蔵庫で保管していた食品・食材について、思っていたより早く ^{いた} 傷んだので捨てた。
	8 その他「3～7」以外の理由（記入） []

問5 あなた自身が、料理・弁当類を「食べ残した」ことがある理由をお答えください。（いくつでも選択可）

項目	回 答
「 ○ 複数（いくつでも） 選択可	1 食事の場所に関係なく、食べ残したことはない。
	2 食べ残したことはあるが、その理由までは覚えていない。
	3 出された料理の味が合わなかったので、食べ残した。
	4 忙しかったので、料理や弁当類を完食できずに食べ残した。
	5 出された料理の量が思いのほか多かったので、食べきれなかった。
	6 満腹の時に料理を出されたので、食べきれなかった。
	7 自分で調理した際の味付けが思いどおりとならず、食べ残した。
	8 その他「3～7」以外の理由（食べ残した理由を記入）。 []

5 ページの問6 と、6 ページの問7 について、
どちらかを選んで、回答してください。

食品ロス（生ごみが発生すること）にあまり関心のない方
→ 問6 を回答（5 ページ）

食品ロスを生ごみ（燃えるごみ）とするのは問題がないとお考えの方
→ 問6 を回答（5 ページ）

食品ロス削減（ごみ減量化問題を含む）に関心がある方
→ 問7 を回答（6 ページ）

問6 「食品ロスにあまり関心がない」か「食品ロスを生ごみ（燃えるごみ）とするのは問題がない」とお考えの方におたずねします。
 そう考える理由をお答えください。（いくつでも選択可）

項目	回答
「〇」 複数（いくつでも） 選択可	1 ほぼ毎日外食していて、家で食事をしないので、食品ロス（生ごみ）が発生しないから。
	2 ごみ出しのルールとして、食品・食材を「燃えるごみ（生ごみ）」として出せることになっているから。
	3 毎日忙しいので、食べ残し等を「燃えるごみ」にさっと出すことによって時間を節約しているから。
	4 買物の回数を減らすために食品・食材のまとめ買いをしているが、家に帰って初めて「不要だった」とわかることがあるから。
	5 冷蔵庫内がぎゅうぎゅうで消費期限等がわからない（管理できない）ので、結果として食品ロス（生ごみ）が発生するから。
	6 その他、食品ロスに「関心がない、やむを得ない」等の理由（記入） []

問6を回答（選択）した方は、以上でアンケート終了です。

御協力ありがとうございました。

問7 食品ロスの削減に関心がある方におたずねします。食品ロスを減らすために、あなたが重要と考える「上位3つ」を選んでください。

項目	回答
最も重要な順に「○」3つまで	1 出された料理を何でも残さず食べきる。
	2 あまった食材を捨てずに有効利用する。
	3 安売りの食品を安易に購入しない。
	4 食べ残した料理を捨てずに、他の料理へ作り替える。
	5 まず今日の献立を ^{こんだて} 決めてから、今日必要なだけの食材を買う。
	6 常温保存の食品の消費期限をチェックし、期限前に使い切る。
	7 冷蔵庫内をぎゅうぎゅうにせず、中のチェックを心がけ、無駄な買い物をしてしないようにする。
	8 食べ残し（食品ロス）の発生はやむを得ないが、生ごみを増やさないよう「たい肥化等」に取り組む。
	9 その他（最も重要と思うことを記入） []

問8 食品ロスに関して、あなたが、食品を扱うお店に対して望むことをおたずねします。あなたが重要と考える「上位3つ」を選んでください。

項目	回答
最も重要な順に「○」3つまで	1 自分が行くお店は、継続して食品ロスに取り組んでいることを知っているの、望むことはない。
	2 売れ残りの食品をなくすよう工夫してほしい。
	3 「はかり売り」や「小さく分けて売る」ことに力を入れてほしい。
	4 いわゆる「手前どり」をもっとPRしてほしい。
	5 お店から出る生ごみ（食品ロス）の量などの情報公開に取り組んでほしい。
	6 その他（最も望むことを記入） []

問9 これまでの設問でおたずねした以外に、食品ロスを減らすことについて、
 思いや提言等があれば、自由に記述してください。

項目	回 答
思いや提言等が あれば記入	

最後に「フードドライブ」についておたずねします。

フードドライブとは、余っている食品等を持ち寄る（団体に寄付する）活動を通じて、食べるものに困っている人達を支援する仕組みのことです。

多くの方がフードドライブを利用することで、食品ロスの削減もできると考えられます。

問10 あなたは、フードドライブに関心がありますか。（ひとつを選択）

項目	回 答
どちらかに 「○」を 記入	1 フードドライブに関心がある。 → 8ページの間11を回答してください。
	2 フードドライブに関心がない・知らない。 → アンケートは以上で終了です。（問11の回答は不要） 御協力ありがとうございました。

問11 フードドライブに関心のある方へ、フードドライブを広めていく上であなたが重要と考える「上位3つ」を選んでください。

項目	回答
最も重要な順に「〇」3つまで	1 SNSやメディアを通じて、フードドライブの存在（受入場所や活動内容等）を市民に広く知らせること。
	2 いくつかの「わかりやすく・目立つ」場所に持込み窓口を置くこと。
	3 夜間・休日でも持込みができる窓口を置くこと。
	4 お祭りなどのイベント会場に持込み窓口を置くこと。
	5 寄付した人が今後も継続して協力したいと思ってもらえるように、ポイント制度などの仕組みを作ること。
	6 会社・小売店・飲食店に対して、フードドライブへの協力を求めていくこと。
	7 困っている人が、いつでも気がねなく食品を受け取れるような仕組みを作ること。
	8 その他（最も重要と思うことを記入） []

以上でアンケート終了です。御協力ありがとうございました。

返送前に確認してください

問6を選んで回答	問1から問6までを回答
問7を選んで回答	「問1から問5まで」「問7から問10まで」を回答 問10で「1」を選んだ場合は、問11も回答

アンケートの返送について
同封の返信用封筒に入れて、令和7年12月7日（日）までに郵便ポストへ投函してください。切手は不要です。